

庁舎建設に関する

特別委員会

Vol. 1. 2

現在、議長を除く全ての町議会議員で構成される「庁舎建設に関する調査特別委員会」において、新庁舎建設基本方針(案)についての議論が行われています。

第1回～6回特別委員会の取り組みの経過については、広報まくべつ10月号(昨年の10月1日発行)でお知らせしていましたが、今月号では、その後の主な検討の内容についてお知らせします。

■企画室 TEL【幕】54-6610

第7回特別委員会(9月30日)

地場産木材など自然エネルギーを活用した足寄町役場庁舎を視察し、意見交換が行われました。

第8回特別委員会(11月22日)

町内6会場で開催した新庁舎建設に関する地区別説明会の開催結果などについて議論され、次のような意見が出されました。

■議員からの意見

○今まで以上に、住民の意見を踏まえた議論を。

○町の進め方として、町民との合意を形成していくことが必要。

○特別委員会で議論してきた内容を、町民に正しく伝える役割が議員にはある。

第9回特別委員会(2月3日)

基本方針(案)に対する意見募集の期間中に開催されたこの特別委員会では、昨年10月に議会の総務文教常任委員会が行った新庁舎建設に関する視察の報告が行われ、庁舎の建設に際して、次の7つの項目(右下表のとおり)の必要性について説明がありました。今後の特別委員会の協議のあり方についても議論され、意見募集の結果を参考に、建設場所を決定するという方向性が示されました。

視察内容を取りまとめた7項目	
1	町民会館のあり方を含めた新庁舎の必要性
2	自然エネルギーの活用と省エネ対策
3	セキュリティ対策
4	無駄のないコンパクトな新庁舎建設
5	学識経験者の知恵を活用するシステムづくりの構築
6	災害対策本部の機能強化
7	議会に関する部分の議員による協議

第10回特別委員会(3月14日)

2月に町内の全世帯を対象に募集した基本方針(案)に対する意見募集の集計結果について議論されました。

第11回特別委員会(3月22日)

新庁舎の建設位置について、次のような意見が出され、次回の特別委員会において、各会派における考え方・方向性を報告することになりました。

■議員からの意見

○意見募集も終了し、おおよその意見は出尽くした。委員会としての結論を出すべき。

○結論を出すまでの資料がない。

○場所については、建設候補地の地耐力など研究しながら議論を進める必要がある。

○集計した意見内容一つ一つをくみ取る時間が必要。会派としての結論が出ていない。

第12回特別委員会(4月5日)

新庁舎の建設場所について、各会派から意見が表明されました(左表のとおり)。全5会派のうち3会派は札内支所の機能や防災対策の充実を条件に基本方針(案)に賛成しました。

残りの2会派は、建設候補地を判断するための資料不足や意見募集の結果などを考慮し、現庁舎北側と百年記念ホール南側の2カ所の地耐力調査の実施を要求。町ではこの要求を受け、地耐力調査を実施することとしました。

この調査の完了には、1カ月程度かかると思込まれ、その後、議会に報告することになります。

▼各会派の意見表明一覧

会派名	構成員	建設候補地についての考え方・方向性的内容
政清会	○牧野議員・東口議員 寺林議員・小川議員	基本方針(案)に賛成
日本共産党 幕別議員団	○中橋議員・増田議員 野原議員・谷口議員	住民説明のためにも 地耐力調査の実施を主張
拓政会	○斉藤議員・芳滝議員 藤谷議員・小島議員	基本方針(案)に賛成
政風クラブ	○前川議員・岡本議員	基本方針(案)に賛成
緑風会	○藤原議員・乾議員	判断できる資料の 不足から意見保留
無所属	成田議員・田口議員	基本方針(案)に賛成

○印は会派代表者。正副議長は会派に所属していません。